

令和6年度

各室課・各公所主要施策

- (1) 学校教育室 (P. 1～2)
- (2) 保健体育課 (P. 3)
- (3) 県立生涯学習推進センター (P. 4)
- (4) 県立図書館 (P. 5～9)
- (5) 県立博物館 (P. 10)
- (6) 県立美術館 (P. 11)
- (7) 県立野外活動センター (P. 12)
- (8) 県立青少年の家 (P. 13～19)

令和6年度主要施策（概要）

公所名 学校教育室
説明者 学校教育企画監 伊藤 兼士

1 重点施策について（重点事項や前年度からの改善点等）

項目	内容
グローバル人材の育成	グローバルな視点を持ち地域の国際化に貢献できる人材を育成するため、「イングリッシュワークショップ」を通じて、グローバル人材として必要な語学力（英語力）の向上を図る。
高校の魅力化	地域等と連携・協働しながら地域や社会の課題を発見・解決する取組を通して、生徒の課題解決能力等の資質・能力を養うとともに、地域への理解を深め地域の活性化につなげる。
いわての復興教育の推進	「いわての復興教育」絵本の周知や活用を通じて、生涯学習関係機関との連携強化を図りながら、就学前教育等への「いわての復興教育」の普及に取り組む。
心のサポートの充実	スクールカウンセラー等の配置、「心とからだの健康観察」の実施、教員研修の3点を柱として、幼児児童生徒の心のサポートに引き続き取り組む。
いじめ問題対策	いじめ問題への組織的かつ適切な対処、自殺予防、関係機関との連携、児童生徒による取組の推進等、いじめ問題への対応に係る教員研修の充実や「いじめ問題解決支援チーム」の派遣等に取り組む。
不登校対策	魅力ある学校づくりを推進するとともに、不登校児童生徒の一人ひとりの状況に応じて、教育支援センター、フリースクール等民間団体等の様々な関係機関と連携し、ICTを活用した学習支援など、多様な教育機会を確保に取り組む。
県立高校入試制度の変更	令和7年度以降の県立高校入試の実施方法について周知を進めるとともに、令和6年度中に行われる令和7年度入試を円滑に実施する。
就学前教育の充実	いわて幼児教育センターの機能である「研修」、「訪問支援」、「調査研究・情報共有」について、施設類型を越えて一体的に推進しながら、就学前教育の充実と就学前教育推進体制の構築を図る。

2 事業計画について（重点事業2～3）

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
グローバル人材の育成	いわての地域国際化人材育成事業	・イングリッシュワークショップ（小5～高3対象、オンライン型ワークショップ、参集型ワークショップ各1回 ※目標とする英語力にあわせた2コースで実施）	オンライン型：6月22日（土）コース別に実施 参集型：7月27日（土）アイーナ 自主研修：7月28日（日）～	児童生徒各回80名程度
		・海外派遣研修（北米コース、中国雲南省コース）	北米コース： 10月14日（月）～25日 中国雲南省コース： 10月14日（月）～21日	北米コース 生徒8名 雲南省コース 生徒16名
高校の魅力化	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業	①全県立高校に展開している「高校の魅力化」の取組の充実。高校と地元市町村等との持続的な協働体制の推進。 ②地域等の関係機関と連携・協働した探究的な学びの推進。地元小・中学校等との連携の強化、取組の発信。コンソーシアムの設置・運営。	通年	全県立高等学校62校
いわての復興教育の推進	いわての復興教育推進事業、学校安全総合支援事業	・いわての復興教育スクール ・学校防災アドバイザー派遣事業 ・「震災の教訓を未来に語り継ぐ」期間の設定 ・児童生徒実践発表会 ・岩手県防災教育研修会	2/7まで 2/7まで 3月まで随時 1月30日（木） 6/4	全公立学校 児童生徒、教職員、保護者、一般等 管理職・主任層、市町村防災担当者等
心のサポートの充実	SC、SSWの配置	学校、教育事務所等に配置し、重層的な教育相談体制を充実させる。	通年	全校種の児童生徒
	心とからだの健康観察	要サポート児童生徒を把握し、早期の支援につなげる。	8月～9月	全校種の児童生徒

	こころのサポートに係る教員研修	S Cを講師として、こころのサポートに係る教員対象の校内研修会を実施	5月～2月	全校種の教員
いじめ問題対策	いじめ問題に係る教員研修	・いじめ特別研修（主任層・担任層）の実施 ・いじめ問題に係る事務所研修 ・学校等研修支援訪問	5月 6月～12月 6月～11月	全校種の教員
	いじめ問題解決支援チームの派遣	・解決困難ないじめ事案に対する訪問支援 ・「いじめ対応・不登校支援等アドバイザー」による支援	通年	学校及び教育事務所・市町村教育委員会
不登校対策	いじめ不登校対策事業	不登校児童生徒支援連絡会議を開催し、市町村教育委員会やフリースクール等民間団体との連携を図る。市町村の教育支援センターの設置等に係る配置職員経費への補助	年2回	市町村教育委員会等
		不登校対策強化	通年	市町村教育委員会
		県教育支援センター「ふれあいルーム」分室を県立図書館内に設置し、不登校児童生徒やその保護者に対するアウトリーチ型支援の充実を図る。	通年	県内公立高等学校等
学習指導要領の趣旨及び内容の理解促進	教育課程協議会、授業力ブラッシュアップ事業及び関連研修会等	学習指導要領を踏まえた教育課程に係る説明・協議やモデル授業の提案等とおして、子供を主語とした授業改善について理解を深める。	R6.4月～R7.3月	県内小・中・義務教育学校教職員、市町村教育委員会関係者等
道徳教育及び人権教育の充実	道徳教育研究推進事業 人権教育研究推進	多様な教育活動と関連を図ったカリキュラム編成や教員の指導力向上に向けた教員研修を充実させるとともに、互いの人権や多様性を認め合う機会を重視した研究（指定校）を推進する。	R6.4月～R7.3月	県内小・中・義務教育学校教職員、市町村教育委員会関係者等
遠隔教育	遠隔教育による学びの機会充実事業	配信拠点から小規模高校6校への授業配信を行う。	通年	配信拠点、受信校6校
探究的な学びの深化	探究・STEAM教育推進事業	各地域の中核的な学校が取り組むSTEAMの視点からの探究的な学びの支援を実施。	通年	推進校9校
D Xハイスクール	高等学校DX加速化推進事業	I C Tを活用した文理横断的な探究的な学びを強化する高校等で、必要な環境整備を行う。	通年	実施校17校
就学前教育の充実	いわて幼児教育センター運営費	・就学前教育施設職員を対象にした研修と幼保小接続研修の充実 ・幼児教育専門員による訪問支援と市町村幼児教育アドバイザーの配置促進 ・県指定研究事業	通年	幼稚園、認定こども園、保育所、小学校、関係機関

令和6年度主要施策（概要）

公所名 保健体育課

説明者 総括課長 中村 和平

1 重点施策について（重点事項や前年度からの改善点等）

項目	内容
<p>・「よりよい運動習慣」の形成</p> <p>・「望ましい食習慣」の形成</p> <p>・「規則正しい生活習慣」の形成</p>	<p>「60（ロクマル）プラスプロジェクト」の推進（継続）</p> <p>児童生徒一人ひとりが自らの体力や健康に関心を持ち、生涯を通じて健康で活力ある生活を送ることができるよう、家庭や地域などと連携し、</p> <p>「よりよい運動習慣」 「望ましい食習慣」 「規則正しい生活習慣」</p> <p>の形成による健康の保持・増進に向けて、各習慣を相互に関連付けた一体的な取組を推進する。</p> <p>主な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジカードの活用による、3つの習慣を関連付けた取組みの推進。 ・優良実践校表彰及び実践発表会の開催。 ・指導主事派遣等による推進支援。 ・ICTを活用した健康管理の調査や検討。 

2 事業計画について（重点事業2～3）

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
児童生徒の健康の保持・増進に向けた対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・食育の推進 ・資質・能力向上研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・食への理解促進や、家庭への望ましい食習慣等の啓発の実施。 ・多様化・深刻化する子どもの健康課題に対応するための研修会を実施。 	・通年	・全校種
適切な部活動体制の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的、自発的な活動の推進 ・学校部活動の地域クラブ活動への移行 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動を推進。 ・「岩手県における学校部活動及び地域クラブ活動の在り方に関する方針」、「地域移行に向けた手引き」の周知や、全国で取り組んでいるモデル事業等の情報提供。 		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校 ・高等学校
安全でよりよい教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設等の安全点検による事故等の未然防止や、関係機関との連携による通学時の見守りや安全教育の推進。 ・バス利用時の安全確保の推進。 ・自転車乗車中のヘルメット着用など自転車の安全利用に向けた取組を推進。 		・全校種

令和 6 年度主要施策（概要）

公所名 生涯学習推進センター
説明者 所長 千葉 憲一

1 重点施策について（重点事項や前年度からの改善点等）

項目	内容
領域(1) 学習情報提供・相談	○生涯学習情報提供システム(Web ページ)「まなびネットいわて」のコンテンツ(教育振興運動等)の充実と最新情報の提供、メルマガ配信数の増加に取り組み、広報紙及び電話対応と併せて、多様な情報提供と相談対応を行う。
領域(2) 調査・研究の推進	○「SDGs(持続可能な開発目標)の実現に向けた社会教育の役割と課題」と「博物館のもつ社会教育的役割とは」について調査および実践的研究に取り組み、市町村や関係機関・団体の支援に努める。
領域(3) 指導者の養成・研修の充実	○市町村生涯学習・社会教育関係職員、家庭教育・子育て支援・地域づくり関係職員(教育委員会及び各部局関係職員)等の資質向上を図る。また、行政担当部局間及びNPO等支援団体関係者のつながりづくりに努める。 ○地域学校協働活動推進員(コーディネーター等)の研修の充実を通して、教育振興運動や地域学校協働活動等の学校と地域の連携・協働の推進を図る。 ○人・つながり・地域づくり、ICT活用、家庭教育・子育て支援、障がい者の生涯学習等の研修を通して、職員及び関係者の資質向上を図る。

2 事業計画について（重点 2～3）

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
領域(1) 学習情報提供・学習相談	Web ページの管理運用	・生涯学習情報提供システム(Web ページ)「まなびネットいわて」のリニューアルによるシステム機能やコンテンツの充実及び有益な生涯学習情報の発信 ※R6目標値:年間 4,750 件 ・研修講座のオンライン配信(内容や目的に応じて) ・専用 Web ページの効果的活用(事業周知や参加申込、資料ダウンロード、視聴等)	年間	県民
	相談対応の充実	・子育て電話・メール相談、生涯学習・社会教育電話相談(マナビイコール)による支援		
	情報提供の充実	・いわてマナビイマガジン(月 2 回程度) ・すこやかメルマガ(月 4 回程度) ・生涯学習情報誌(年 4 回)		
領域(2) 調査・研究の推進	調査研究事業	・「SDGs(持続可能な開発目標)の実現に向けた社会教育の役割と課題」(2 年次/2 年研究) ・「博物館のもつ社会教育的役割とは」(1 年次/2 年研究)	研究発表会 R7.1.30～31	生涯学習・社会教育、地域づくり関係者 100 人
領域(3) 指導者の養成・研修の充実	(1) 人・つながり・地域づくり関係職員等研修講座	(1) 社会教育の推進及び人・つながり・地域づくり等に携わる地区センター・公民館職員(他部局職員も含む)等の資質向上を図る研修会 ※各地区の課題に応じたテーマ設定 「子育て支援ネットワーク形成」「障がい者の生涯学習」「多様性の尊重」「事業企画手法」「リカレント教育」「継続的な地域づくり」	中央研修 7/17 移動研修 県内 6 か所	市町村生涯学習・社会教育関係職員、公民館等職員 各 20～80 人
	(2) ICT スキルアップ研修講座	(2) オンライン研修の実施方法、オフィスソフトの使い方、広報誌の作成について、など 9 回の講座	5 月～10 月	県・市町村職員等 各 30 人
	(3) 家庭教育・子育て支援担当者等研修会	(3) 子育て支援・家庭教育支援にあたる担当職員及び子育て支援関係者の資質向上とネットワーク形成を図る研修会	5/27 実施	子育て支援関係者等 133 名(鑑)

令和6年度主要施策（概要）

公所名 岩手県立図書館
説明者 館長 森本 晋也

1 重点施策について（重点事項や前年度からの改善点等）

項目	内容
(1) 図書館機能の充実	指定管理者との連携協力、図書館協議会の開催、アンケート等による利用者ニーズの把握、公衆送信サービスへの対応者電子図書館としての充実等の検討、読書バリアフリーへの対応等の検討
(2) 資料の収集、整理、保存及び活用	震災・防災の学び合いスペース「1-ルーム」での児童生徒等の探究的な学びの支援、震災復興や本県の今日的な課題に対応した講演会やワークショップ等「1-セミナー」の開催、郷土資料の重点的収集・整理と講座の開催による資料の活用、古文書等貴重資料の修理
(3) 相談機能の維持・充実	県民が抱える課題の解決等に役立つレファレンスサービスの提供、レファレンス事例や郷土資料に関するデータベースの充実
(4) 学習機会の提供と読書活動の奨励	資料を活用した企画展等による学習の動機付け、本県独自の読書週間における標語及び手づくり絵本の募集、読書サークル等への資料貸出しや読み聞かせ会の実施
(5) 市町村支援及び連携	協力貸出・レファレンス、図書館等職員を対象とした各種研修、共通テーマに関する調査研究、災害時の相互連携・応援
(6) 関係団体等との連携	県の図書館協会や読書推進運動協議会を通じた連携、県立美術館・県立博物館等の社会教育施設との連携、アイーナ内施設等との連携

2 事業計画について（重点事業2～3）

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間
適切な図書館運営と利用者サービスの向上	図書館資料の収集と活用	1 望ましい蔵書構成を目指した計画的な資料収集 2 各種事業やレファレンスによる資料の有効活用	通年
	震災・防災の学び合いスペース「1-ルーム」の運営	1 東日本大震災・自然災害・防災関連資料の収集 2 震災復興や今日的課題についての講演会、ワークショップ等「1-セミナー」の開催 3 震災・防災等関連資料セット貸出の実施 4 東日本大震災津波関連資料等のデジタル化 5 いわて防災復興研究会と連携した防災意識の向上	通年
	利用者サービスの向上	1 レファレンスの充実 2 企画展等各種イベントの開催	通年
県民の読書活動の促進	読書週間による読書活動の促進	1 読書週間関連イベントの開催 (1) こどもの読書週間(全国) 4月23日～5月12日 (2) 読書週間(全国) 10月27日～11月9日 (3) 岩手の読書週間 2月1日～2月14日 2 読書推進標語及び手づくり絵本の募集・表彰 3 「読書をすすめるつどい」(表彰・講演等)の開催	左記期間中 左記期間中 左記期間中 6月～2月 2月8日(土)
市町村立図書館等への支援と連携の推進	訪問等による支援	1 訪問による図書館運営状況の把握・助言・支援 2 相互貸借や団体貸出等による支援	7月～10月 通年
	職員の育成	1 県図書館協会との連携による各種研修の実施 (1) 新任図書館長等研修会 (2) 初任職員研修会(オンライン配信・集合研修) (3) 中堅職員研修会 (4) 専門研修(中央開催・地区開催) (5) 図書館職員・図書館協議会委員合同研修会 2 図書館等職員による調査研究の共同実施	4月26日(金) 5月13日(月)～ 6月28日(金) 7月 9月 10月 9月～2月
	教育事務所等への支援、学習の場の提供	1 個別相談への対応 2 教職員・ボランティア研修等への講師派遣 3 インターンシップ(高校生・大学生)等の受入れ	通年

震災・防災等の学び合いスペース「I-ルーム」とは

- 児童生徒やグループによる学び合いの場
- 利用者が資料等に出会い、課題解決に向けて有益な情報を得る場
- 愛と希望に満ちた岩手県 (Iwate Prefecture) の創造につながる拠点

児童生徒等の復興や防災の探究的な学びの支援

- ・「I-ルーム」で、具体的に学べる図書や資料の提供
- ・「レファレンス」機能を活用して探究的な学びを支援
- ・ワークショップ等の企画・開催
- ・学校や各種団体への図書等のセット貸出

自然災害や防災、安全を総合的に学ぶ拠点

- ・県民や本県を訪れた方々が震災津波や自然災害、防災、安全等を総合的に学ぶことができる場

県内の震災津波関連施設等のサテライト的機能

- ・県内の震災津波関連施設の紹介 ・沿岸部への誘客の促進

所蔵資料数

開架 (I-ルーム)

図書・雑誌等	点数
東日本大震災	3,905
防災関連資料	789
自然災害関連資料	736
合計	5,430

収集資料	点数
東日本大震災一枚もの資料	6,321

閉架

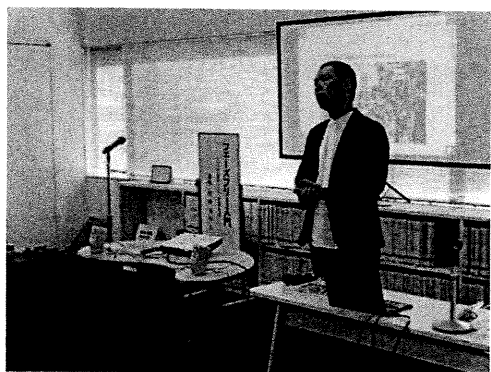
書庫排架分	点数
図書・雑誌・視聴覚	11,752
東日本大震災一枚もの資料	12,538
合計	24,290

総計 36,041点

岩手県立図書館

1

「フェーズフリー入門～いつもの暮らしから、非常時の支えに～」 2023年12月10日



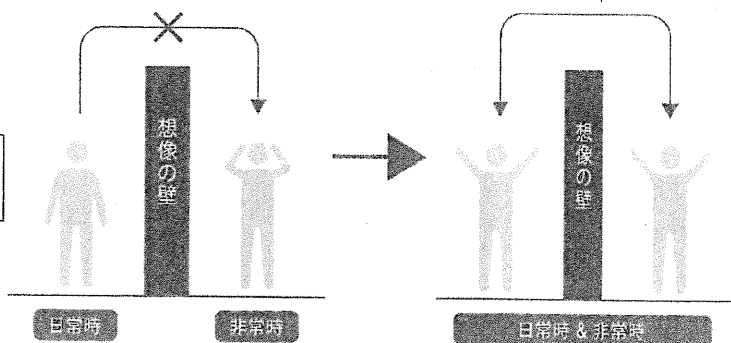
【講師】 一般社団法人フェーズフリー協会
代表理事 佐藤 唯行 氏

日常の暮らしを豊かにしているものが、非常時の生活や命を支えるという新しい防災、「フェーズフリー」という考え方を学ぶ

例) 町づくり、商品開発、気候変動、教育分野など

非常時をイメージできないから
いざという時に守れない

非常時をイメージできなくても
フェーズフリーで守られる



岩手県立図書館

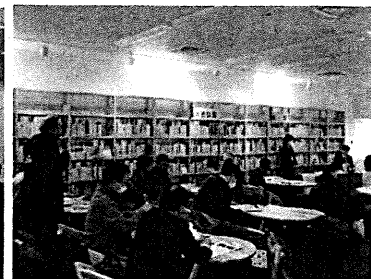
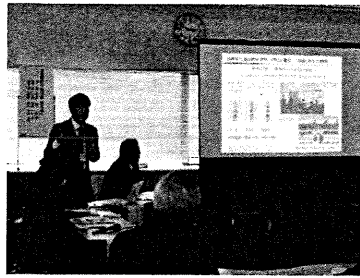
-6-

2

「地震防災を考える～東日本大震災・能登半島地震をうけて～」

基調講演 岩手大学工学部
准教授 山本 英和先生

パネルディスカッション「図書館で防災を考える」



パネリスト 岩手大学工学部准教授 山本 英和先生
盛岡大学文学部准教授 吉植 庄栄先生
岩手県立図書館館長 森本 晋也

岩手県立図書館

3

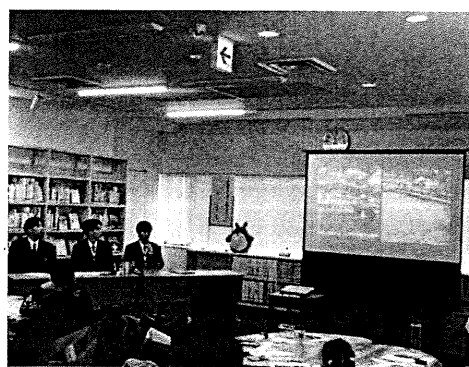
県立一戸高校 「防災ボトルづくりセミナー」

2024年3月3日

令和4年の大雨について調査
高校生の防災意識アンケートを実施
↓
防災意識を高めるため、防災ボトルづくりへ



学校での取組（防災授業、文化祭）



「総合的な探究の時間」での取組について発表

小学生が、地図上に危険なところ、避難場所などを記入していく。高校生がアドバイス。

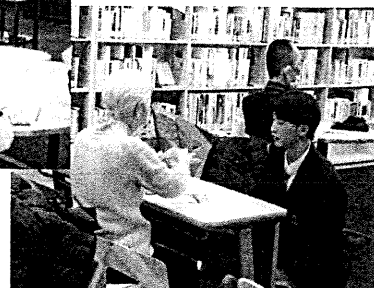


一戸小学校での出前授業



「防災ボトル」づくり

高校生が、防災ボトルの作り方を丁寧にアドバイス。



岩手県立図書館

4

「いわて防災復興研究会」との連携事業

いわて防災復興研究会

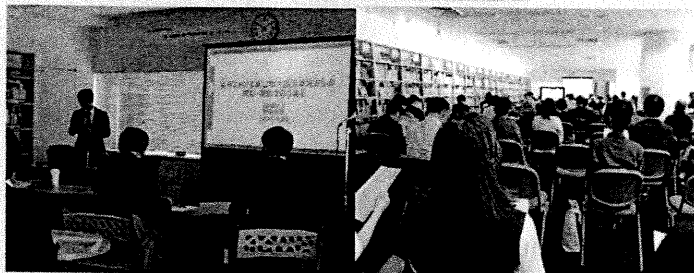
東日本大震災津波からの復興を振り返り、今後発生が懸念されている大規模災害等に備えるための提言等を行うため、大学教員や自治体・NPO等の職員など有志でつくった研究会。

- 活動拠点:「I-ルーム」
- 活動期間:2年間
- 月1回程度の研究会開催
- 内容:講演・研究協議
- 報告書を作成予定

※広く県民にもオープンにして、対面とオンラインで開催。年度末には、アイーナでシンポジウムも開催予定。

第1回研究会（兼「第1回I-セミナー」）

2024年4月20日



立命館大学教授 柴田但馬氏
「岩手県における東日本大震災津波からの復旧・復興を振り返る」

第2回研究会 2024年5月18日



防災危機管理アドバイザー（元岩手県防災危機管理監） 越野 修三氏
「大災害から学ぶ危機管理」

岩手県立図書館

5

県立伊保内高校 「復興・防災学習」(総合的な探究の時間) 2024年5月10日

(1) 課題設定 (事前)

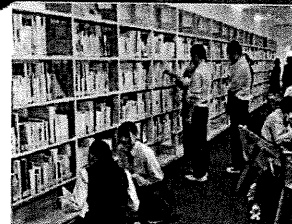
防災をテーマに、生徒が深く調べたいことを考え課題を設定する。

例) 自然災害とハザードマップ、避難と高齢者・障がい者、ボランティア、震災後の伝承、災害後の健康被害など

(2)「情報の収集」(I-ルームでの復興学習)



テーマに合わせて、職員が準備した図書から必要な情報を収集。もっと調べたいことについては、職員に相談しながら、必要な資料を探す(レファレンス支援)。



探究的な学びを支援

(3)「整理・分析」「まとめ・表現」



I-ルームで必要な図書や資料を借り、学校でロイロノートにまとめる。「テーマ設定の理由」、「分かったこと」、「地域の発展に活用できること」、「参考文献」など。

テーマにあった本をみつけ、必要な情報を抜き出す力、テーマについて深く調べる力、情報をもとに対策を考える力などが身に付いた!!

岩手県立図書館

-8-

6

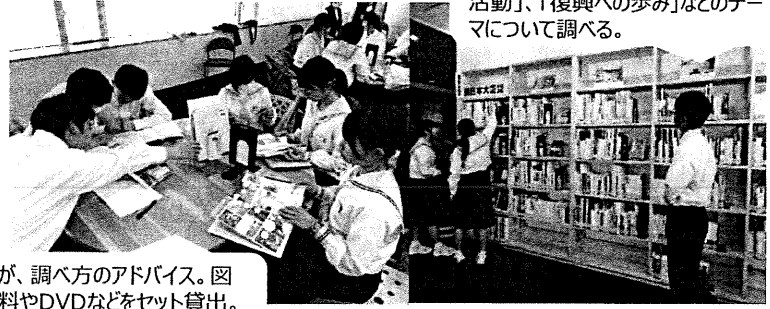
(1) 館長講話

震災を生き抜いた釜石の子どもの避難行動や地域の災害リスクについて学ぶ



(2) テーマについての調べ学習

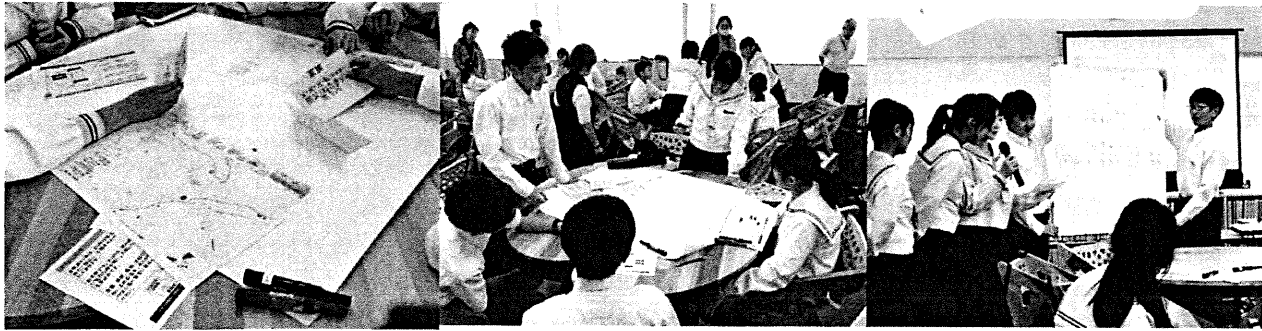
「言い伝え」、「災害医療」、「後藤新平の復興への取組」、「語り部の活動」、「復興への歩み」などのテーマについて調べる。



職員が、調べ方のアドバイス。図書資料やDVDなどをセット貸出。学校に戻ってから、学習のまとめ。

(3) 台風・大雨ワークショップ「そのとき、どうする？」

付与情報（気象情報）に対して、地域のハザードマップをみながら、家族の状況を考えながら対応を考える。



岩手県立図書館

今後の予定 震災津波の教訓を未来に伝え、県民の災害への備えの意識の向上に向けて

「I-セミナー」(県立図書館主催の行事)

「家族で防災について学ぼうin遠野」

遠野市教育委員会との連携事業で、遠野市で、「災害と妖怪」について学び、防災食を食べ、地元の小学生との交流を実施予定。

「紙ぶるる」(耐震を体験)、「フェーズフリー」、「災害救助犬」などのイベントを検討中。

震災関連施設や関係機関との連携

東日本大震災津波伝承館(陸前高田市)、県立野外活動センター、岩手県砂防災害課、日本赤十字社岩手県支部等との連携展示や企画イベントを予定。

沿岸部の岩手県立野外活動センターで、1-ルームの紹介や震災・防災関連の本を設置。小学生が本を読んでいる様子。



I-セミナー

家族で防災

I-サポーター大募集!!

I-サポーター5名

について学ぼうin遠野

～災害と妖怪～

「災害と妖怪」をテーマに、図書館を飛び出して遠野学ぼう!
学芸員さんと一緒にカッパ(漕)を運ったり、防災食を食べて地元の小学生と交流したり...
自由研究のひとつとして家族で参加してみませんか!

日にち

7月29日(月)

対象：県内にお住いの小学生とその保護者
定員：40名
集合場所・時間：岩手県立図書館4階1-ルーム 9:15

諸経費：1名につき2,500円 (当日お支払いいただきます)
申込：窓口または電話にて受付 ※6/15(土)より申込受付

【行程】

集合・受付時間	9:15
7:30	集合行参
7:45	集合出発
11:20	遠野市立野外活動センター
12:00	土曜地域センター
13:00	食卓
13:30	カッパ(漕)
14:00	大
15:20	道の駅湯野の湯
17:05	集合出発

岩手県立図書館 岩手県立図書館 湯野学芸員室
〒982-8501 岩手県花巻市湯野1-1-1 Tel: 019-606-1730

令和 6 年度主要施策（概要）

公所名 岩手県立博物館
説明者 副館長 野崎正隆

1 重点施策について（重点事項や前年度からの改善点等）

項 目	内 容
(1) 調査研究活動と効果的な資料収集活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の自然史・文化史の拠点となる。 ・本県の自然や人間の営みの証拠となる資料を継続的に収集し、県民共有の知的財産として次世代に引き継ぐ。
(2) 利用者に親しまれる常設展示や魅力ある展覧会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究の成果や収集資料の状況を展覧会やホームページ等で発表し、県民の生涯学習等を積極的に支援する。 ・魅力ある展示を推進し、来館者の増加に繋げる。
(3) 学校教育と博物館との連携強化など教育普及活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高等学校への学習支援を積極的かつ継続的に行い、博物館利用に繋げる。 ・県民が豊かな社会生活を営むための機会や情報を提供する。
(4) 被災文化財等の救援活動及び保存・管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・陸前高田市で被災した博物館資料の再生に向けて支援を継続する。 ・被災文化財の救出及び保存・管理の対応方針に基づく取組を実行する。

2 事業計画について（重点事業 2～3）

領 域	事 業 名	趣 旨・内 容	期日・期間	対象・人数
展示	特別展示 (企画展・テーマ展)	「ふしぎな縄文」	6/8～8/25	県民
		「捕食者の献立」	9/28～12/1	
		「辿る～岩手の囲碁と将棋」	1/7～3/9	
		「驚異の部屋」(博物館所蔵珍品・お宝大集合)	3/29～5/18	
教育普及	講演会、観察会、講習等及び学校教育との連携	県民の学習意欲の高揚のため各種講演会等を開催するとともに、博物館の教育機能を活かした学校教育との連携事業を実施する。 (1) 講演会、地質・自然観察会、日曜講座等 (2) 教材用資料の貸出、出前講座・体験教室等	随時	県民
受託事業	科学分析保存処理受託事業	東日本大震災津波で被災した陸前高田市の資料の修復等を実施する。	通年	陸前高田市立博物館
自主事業	博物館まつり	多くの方々に博物館をより身近に感じてもらえるよう、様々なイベントを実施する。	10/12(土) ・13(日)	県民

令和6年度主要施策（概要）

公所名 岩手県立美術館
説明者 副館長 多賀 聡

1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
1 県民の共通財産としての将来への継承	<p>県民のニーズに沿った岩手県らしい、高い集客性が見込める企画展等を開催し、多くの県民に国内外の優れた美術作品鑑賞の機会を提供し、県民の文化芸術に対する理解を深める。また、各展覧会に関連付けた講座等を実施し、県民の文化芸術に対する興味・関心を高める。</p> <p>(1)企画展及びコレクション展の観覧者数(59,000人)の達成 (2)教育普及事業の参加者数(6,000人)の達成 (3)館者の総合満足度90%以上の達成</p>
2 調査・研究活動等の推進による本県評価の向上	<p>文化芸術振興の拠点的功能を担う施設として、スタッフの人材育成・力量向上を図り、美術品の収集、調査・研究、展示・普及活動等を総合的に推進する。</p> <p>(1)美術品の計画的な収集、修復保存 (2)調査・研修成果等に基づく岩手発の独自企画展開催 (3)計画的な美術史研究や新規の教育事業開発の推進</p>
3 県民が等しく鑑賞・参加・想像できる環境の整備	<p>県民が優れた美術品の鑑賞や制作活動を体験できるよう環境を整備する。</p> <p>(1)効果的で訴求力のある広報活動の展開 (2)県民ニーズに沿った魅力ある自主事業の実施 (3)収蔵作品データの公開利用の推進</p>

2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
展示事業	1 企画展	<p>企画展開催</p> <p>(1)堀内誠一 絵の世界 (2)川端龍子展 (3)サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化60年史 (4)柚木沙弥郎 永遠のいま (5)平間至展 写真と音楽があるかぎり (6)アートフェスタ2024</p>	<p>4/13～6/2 6/15～7/28 8/10～10/6 10/19～12/22 1/11～2/24 3/8～3/23</p>	一般
	2 コレクション展	所蔵作品を広く公開、郷土ゆかりの作家・作品を紹介するコレクション展開催	第1～4期	
教育普及活動事業	1 展示関連	ギャラリートーク、関連講座等	通年	一般 ※内容により対象限定
	2 美術普及	スタジオプログラム、美術講座等		
	3 教育連携	出前授業(順次、リモート授業へ移行)		
	4 来館者対応	一般団体、学校団体		

令和6年度主要施策（概要）

公所名 岩手県立野外活動センター

説明者 所長 高橋 弘寿

1 重点施策について（重点事項や前年度からの改善点等）

項 目	内 容
(1)施設利用の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ○利用団体の円滑な受入と利便性の向上 ○利用者アンケートの分析等に基づいたニーズ把握の精度向上 ○広報活動の拡充(SNS等の活用促進)
(2)施設環境の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ○施設設備に係る継続的・適時的な安全管理の徹底 ○敷地内全般における環境の整備(草刈、除草、害虫駆除等) ○委託業者との円滑な連携の推進(食堂、清掃、警備等) ○施設管理の実態整理及び生涯学習文化財課との連携促進
(3)主催事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○自然体験活動事業(「ドラマチック海遊塾」「野活キッズ」等) ○家庭教育関連事業(「ファミリーキャンプ」「通学宿泊合宿」等) ○指導者養成事業(「ボランティアスタッフ養成講座」等) ○復興防災事業(「震災・防災学習現地研修会」「親子防災教室」等) ○スポーツ推進事業(「スポーツ教室」「SUP体験会」等)
(4)研修プログラムの充実	<ul style="list-style-type: none"> ○自然体験活動(「野外炊事」「テント泊」「いかだ体験」等) ○スポーツ活動(「テニス」「バレーボール」「ニュースポーツ」等) ○復興・防災教育(「防災ウォッチング」「避難所運営ゲーム」等)

2 事業計画について（重点事業2～3）

領 域	事 業 名	趣 旨・内 容	期日・期間	対象・人数
自然体験活動事業	ドラマチック海遊塾	海をテーマとした活動を通し、本県の自然の素晴らしさを再発見する。また、初めて集う仲間達と4日間をともに生活する中で、協力することの大切さや仲間を思いやる気持ちを育む。	7/28(日) ～31(水)	小学5年 ～中学生 30名
復興防災事業	震災・防災学習現地研修会	復興教育担当教員等を対象とした震災・防災学習プログラムに係る現地研修会を実施することにより、学校教育と連携した震災伝承と防災文化の醸成を図る。 ※東日本大震災津波伝承館との連携	① 8/6(火) ② 8/7(水)	教員 各回20名
家庭教育関連事業	ファミリーキャンプ in 広田	親子で自然や防災に関する体験活動を通し、家族の絆を深めたり、災害時の行動について考えたりする機会とする。	初級編 8/24(土) ～25(日) 防災編 9/28(土) ～29(日)	小学生とその家族 各回とも 10家族 30名程度

令和6年度主要施策（概要）

公所名 岩手県立県南青少年の家

1 重点施策について（重点事項や前年度からの改善点等）

項 目	内 容
社会教育と学校教育、地域・関係機関との連携	(1)利用団体の研修目的達成のためのプログラム等相談の充実 (2)関連施設・団体との連携による魅力的な事業の展開 (例：県南広域振興局や奥州地方森林組合などとのタイアップによる事業展開など)
生涯学習支援を意識した事業の組み立てとプログラム開発	(1)利用者アンケートや利用者の声を生かしたアクティビティ拡充（例：幼児プログラムの開発） (2)直接生活に生きる知識を盛り込んだプログラム構成（例：水と美織のフレンドシップでのロープワーク、かるがも親子体験教室や自然ワンダークラブでの防災プログラムなど） (3)高校及び大学、専門学校、放課後児童クラブ、適応指導教室、大人ワンダークラブを介した利用促進の呼びかけ（例：県南は〜トフルDayの子ども食堂への利用アピール※別紙参照）
参加者の安全・安心の確保	(1)施設・設備の点検と安全の確保及び計画的な補修・整備 (2)熊や蜂、ツタウルシなどの危険動植物等、利用者へのタイムリーな情報提供と職員の巡回

2 事業計画について（重点事業2～3）

領 域	事 業 名	趣 旨・内 容	期日・期間	対象・人数
受託	自然ワンダークラブ (春・夏・秋・冬)	四季を通じた自然の中、異年齢で構成される集団に様々な活動を体験させることを通し、岩手の自然や風土を味わわせたり復興について考えさせたりするとともに、仲間を大切にしようとする心を育む。(創作、野外炊事、川遊び、テント泊、雪遊び等)	春5月25～26日 夏8月17～18日 秋9月28～29日 冬1月11～12日	小学4～6年生 30名
受託	水と緑のフレンドリーシップ	異年齢で構成される集団による共同生活と様々な体験活動を通し、主体的に行動し逞しく生きようとする心を育む。(搜索、野外炊事、河川および森林学習、間伐伐採体験など)	7月28～31日	小学5年生～中学生 20名
受託	県南は一とふる♡ Day 【スクラム編】	日常の学習とは異なる活動の提供を通して、体験の機会を拡大させるとともに参加者相互の交流を図る。 (創作、ニュースポーツ体験等) ※【チャレンジ編】は通年（内容はニュースポーツや搜索が中心。出前依頼可能。学校不適用児童生徒対象）	12月7日	特別支援学校在籍児童と保護者 10家族20名

令和6年度 岩手県立県南青少年の家 主催事業

県南は〜とふる♡Day 実施要項

1 目的

日常の学習活動と異なる体験活動を通して、児童生徒の交流と活動の促進を図る。

2 主催

岩手県教育委員会 岩手県立県南青少年の家

3 対象

学校不適応傾向の児童・生徒（定員なし）

4 内容

県南青少年の家の指導員が小中学校や適応指導教室等に出向いて、県南青少年の家で行っている体験活動（創作活動・ニュースポーツ体験活動等）を指導します。

5 期間

令和6年4月から令和7年3月（青少年の家の休所日を除く）

6 会場

中部教育事務所及び県南教育事務所管内の小中学校、適応指導教室等へ指導員が伺います。県南青少年の家での活動も可能です。

7 費用

無料（創作活動を行う場合は材料代のみ徴収いたします）

8 申し込み

随時受け付けます。県南青少年の家まで電話でご連絡ください。実施日時や活動内容等についてご相談の上決定します。

9 その他

参加児童生徒の移動が必要な場合は所バスの運行を行います。

岩手県立県南青少年の家

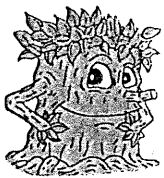
住所 〒029-4504 胆沢郡金ヶ崎町永沢下館 49-1

電話：0197-44-2124 FAX：0197-44-2126

E-mail：kenritukennan@echna.ne.jp

<https://iwate-sposhin.jp/kennan/>

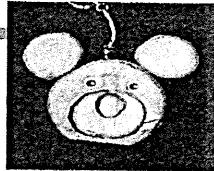
『県南は～とふる♡Day』 事業のご案内



県南青少年の家指導員が別室登校・適応指導教室等に通う児童生徒の体験活動をお手伝いします。各学校や適応指導教室等に指導員が用具や材料を持参して指導いたします。希望される場合は県南青少年の家にご連絡ください。

創作活動

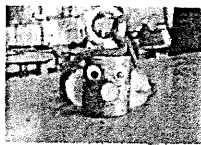
森のキーホルダー



森のキーホルダー 300円

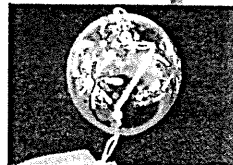
バードコール 300円

バードコール



プラ板工作 300円

風鈴の絵付け 500円



風鈴の絵付け

竹とんぼ 200円

ぐにゃぐにゃ凧 300円

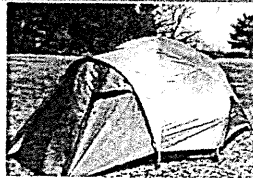
クリスマスリース(冬) 600円

クリスマスキャンドル(冬) 600円

虫よけトンボちゃん(New) 300円

その他体験活動

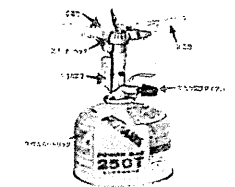
テント設営体験 無料



テント設営

火おこし体験 250円

火おこし体験



シングルバーナー

シングルバーナー体験 無料

お湯を沸かします。コーヒー、紅茶等は利用団体で用意してください

県南青少年の家であれば野外炊事もできます！

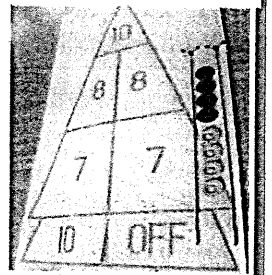
(バスによる送迎も可能です！)

〒029-4504 岩手県胆沢郡金ケ崎町永沢下館49-1
 TEL (0197) 44-2124 / FAX (0197) 44-2126
 ホームページ <https://iwate-sposhin.jp/kennan/>
 メール kenritukennan@echna.ne.jp

ニュースポーツ体験活動

シャフルボード

シャフルボード



モルック

全 て

キンボール

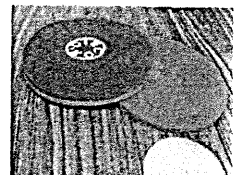
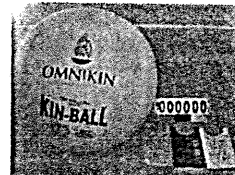
無 料

ディスコン

キンボール

ディスコン

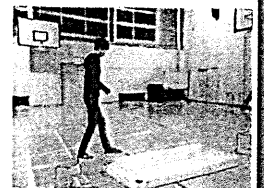
クロリティ



ポツチャ

スラックライン

スラックライン



ネイチャーゲーム

キャッチザスティック

県南は～とふる♡Day

活動案

出前での活動案

時間	場所	項目	内容	備考
9:15	各教室	指導員到着	活動準備 あいさつ・自己紹介等	
9:30~	体育館等	テント設営	指導員とともにテントを設営する	
10:30~	体育館等	ティータイム	シングルバーナーでお湯を沸かして紅茶等を飲む	紅茶、砂糖、スプーン等は利用団体で用意
11:15~	体育館等	テント撤収	指導員とともにテントを撤収する	
12:00~	各教室		活動終了 あいさつ・感想発表等	

青少年の家での活動案

時間	場所	項目	内容	備考
9:00		所バス運行	9:35 金ヶ崎駅 発 9:50 県南青少年の家 着	上り電車 9:06 着 下り電車 9:25 着
9:50~	事務室	受付	受付後第1炊事場に移動 あいさつ・自己紹介等	
10:00~	第1炊事場	昼食づくり	指導員とともにカレー作りをする	
11:15~	第1炊事場	昼食・休憩	つくったカレーを食べる	
12:00~	第1炊事場	片付け	使った器具等を洗い、片付ける	
13:00	体育館	NS体験	シャフルボード スラックライン等	
14:30~	体育館	体験終了	・あいさつ ・感想発表等	
14:50~	玄関前	所バス運行	14:40 県南青少年の家 発 15:55 金ヶ崎駅 着	下り電車 15:06 発 上り電車 15:11 発

令和6年度主要施策（概要）

公所名 岩手県立陸中海岸青少年の家

1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
学校教育と社会教育、生涯学習の連携と協働	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊体験学習利用における学校間の効率的調整並びに指導の充実、工夫及び安全面への配慮 ・沿岸地域市町村生涯学習及び社会教育関係部局との事業連携
生涯スポーツの推進と健全で自立した青少年の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域諸団体のニーズ及び学習主体者の実態に応じたニュースポーツの指導 ・青少年対象主催事業の充実
地域の自然環境を活用した体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・沢登り、いかだ体験及び山中ウォークラリー等、三陸ジオパークの特長を生かしたプログラムの実施

2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
受託	マリンランド陸中自然体験塾①海の子野外教室	<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験活動を通して、思いやりの心や自然を大切にする心を育み、参加者相互の交流を図る。 <内容> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋スポーツ、星空観察、海釣り、磯遊び、野外炊事等 	7月31日(水) ～ 8月3日(土) (3泊4日)	小学生 5・6年生 30人程度
受託	やまびこキャラバン ハートフルキャラバン	<ul style="list-style-type: none"> ・諸団体(学習主体者)のニーズに応じた出前講座 ・誰一人取り残さない学びの保証に向けた出前講座 <内容> <ul style="list-style-type: none"> ・創作活動、ニュースポーツ、餅つき等 	通年	学校、市町村関係部局、子ども会、放課後児童クラブ、スポーツ少、公民館、サークル、フリースクール、教育支援センター(適応指導教室等)
受託	親子防災デイキャンプ(新規)	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で災害に対する日頃の備えについて考える機会の提供 <内容> <ul style="list-style-type: none"> ・釜石高校夢団との連携による防災に関する体験活動 	10月5日(土)	小・中学生の子どもを含む家族5組程度

令和6年度主要施策（概要）

公所名 岩手県立県北青少年の家

1 重点施策について（重点事項や前年度からの改善点等）

項目	内容
青少年の健全育成・生涯学習の振興のための研修活動及び主催行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○利用団体の研修のねらいが達成できるような支援 ・本施設の自然環境や施設の特長（プラネタリウム・スケート場）を活かした研修プログラムの充実 ・団体等の研修目的や活動計画に対応した適切な活動支援 ○ねらいをとらえた魅力ある主催事業の展開 ・特色ある自然体験、不登校対策、地域人材ボラ養成、復興・防災教育などの受託事業・自主事業の展開 ・特別支援教育の充実、不登校対策、SDGsなど、今日的課題に対応した事業プログラムの開発と研修活動支援
利用団体への適切な対応と利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ○効果的な研修のプログラムの作成に係る指導者への適切な助言と効率的で正確な連絡調整 ○研修者に主体性を育む体験プログラムの整備と指導の工夫 ○団体に主体的なニーズをつくる、多彩で効果的な体験活動の理解伸張 ○新規利用者層の開拓と、団体が様々な形で繰り返し利用することを促す取組 ・広告活動の充実、各団体への利用の働きかけ、各団体との連携の強化
安全確保と適切な危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ○感染症・食中毒の予防・武士の竹の適切な対応 ○点検と修繕による事故の未然防止 ○適切な指導支援による事故の未然防止 ○事故発生時の適切な対応
業務改善・施設改善	<ul style="list-style-type: none"> ○4半期毎の施設長会議や職員会議での月毎、主催事業毎の成果と課題の整理とPDCAサイクルによる業務改善、OODAによる日常的即応的な業務改善 ○「明るく、清潔感があり、使いやすく、親しみを感じる」施設を目指した施設運営改善

2 事業計画について（重点事業2～3）

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
受託	親子でデイキャンプ	<p>趣旨：幼児（年長）から小学校1年生児童及び保護者が、野外における様々な自然体験活動を通し、親子のふれあいを深め、子育て親子同士の交流を図る。</p> <p>内容：テント設営、焚火体験及び調理体験、森のようちえん、子育て交流セミナー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 6月22日（土） ② 6月29日（土） 	各回10家族 30名程度

受託	サマーチャレンジ キャンプ	趣旨：異年齢で構成された集団が、 野外活動を通して、自主性、 忍耐力、協調性を育むととも に、たくましく生きようとする 心の育成を図る。 内容：ツリークライミング、姫神山 登山、ラフティング、海遊 び、バーベキュー等	8月4日（日）～ 8月8日（木）	小学4年生 ～中学生 30名程度
受託	だれでもスケート	趣旨：登記スポーツの技術の向上を 図るとともに、青少年の健全 育成に資する。 内容：初心者、初級者を対象とした スケート教室 立ち方、歩き方、滑り方の指導	① 11月10日 （日） ② 11月24日 （日） ③ 12月8日 （日）	子どもから 大人まで 各回30名程 度
受託	ステラパルボラン ティア養成セミナー	趣旨：高校生を対象にボランティア 養成セミナーを開催し、ボラ ンティア活動に対する意識、 意欲を高めるとともに、青少 年活動支援及び施設ボランテ ィアとして活動することで、 その資質や能力の向上を図 り、地域人材の育成に資す る。 内容：アイスブレイク、火起こし体 験、野外炊事、テント設営、 ネイチャーゲーム、キャンド ルサービス、アドベンチャー プログラム	5月18日（土） ～1月9日（日）	高校生 30名程度